

| | |
|--|-------|
| ○ 第1部 地域まちづくりについて | |
| 1 地域のまちづくり計画について | |
| 【市からの状況説明】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道705号線の第1工区(まほろば大橋先～東道通り)は、4月に用地取得が完了し、仮舗装した歩道部分は通行可能となった。第2工区(東道通り～片町通り)は、用地交渉を進めている。なお、同地区周辺における活力ある商店街づくりのため、「本町二丁目建替等事業費補助金」や「商業施設建築資金利子補助金」等による支援により、魅力ある商業地を形成し、にぎわいづくりを図りたいと考えている。 ・ 加茂川地区の都市計画道路(曾屋名古木線)については、本市で策定を進めている「道路整備プログラム」に基づき、有効性、費用対効果、事業性など客観的な指標により整備効果の高い路線等を選定し、計画的な道路整備を示すこととする。策定にあたっては、関係機関等への意見照会やパブリックコメントなどを実施し、広く意見を集める。 ・ 厚木秦野道路(246号バイパス)は、平成26年4月に伊勢原西IC(仮称)から秦野中井IC間の約5.2kmが事業化され、平成27年度から平成29年度にかけて、国土交通省が路線測量、地質調査、地盤調査等を実施した。現在、道路設計と環境調査を進めており、その後、用地説明、用地買収と進めていくと聞いている。 ・ 新東名高速道路の工事に併せ、国道246号菖蒲地内の接続道路部分では、厚木秦野道路の関連事業(秦野西IC改良工事)が進められている。 ・ 秦野中井ICから西側の未事業化区間は、伊勢原市、厚木市及び中井町の3市1町で組織する国道246号バイパス建設促進協議会等を通じ、国や県への要望活動など、早期の事業化を働きかけていく。 ・ 新東名高速道路の整備に伴い、市内で約3万6千人のICへのアクセスの向上が見込まれ、そのうち1万1千人は、新たにICから5kmの圏域内となる。渋滞等を回避して高速道路を利用できるようになり、工業集積地への大幅な利便性の向上が期待できる。また、物流効率化による既存立地企業の支援につながるとともに、新規企業の立地促進など、産業基盤の強化も期待される。 ・ さらに、市北部から東海大学附属病院の救急救命センターへの搬送時間が4分短縮(20分→16分)されることで、搬送される方の生存率の向上が見込まれるとともに、大規模災害時において、自衛隊災害派遣部隊の活動拠点となる県立秦野戸川公園とのアクセス距離の短縮も見込まれる。観光の観点では、季節に応じた掘り取り観光農業等による地域の活性化が期待される。 ・ 護岸・河床の土砂が流されやすい金目川弘法橋付近において、下流部の土砂を運び入れ、床固めによる対策を県が実施したが、大雨等によりその土砂が流されたことを確認した。県によると、今後予算を確保し、構造物等を設置したいと考えているとのこと。 | 建設部長 |
| 【質問・要望・意見等】 | |
| <p>(質問・要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加茂川地区の都市計画道路に合わせた周辺整備の状況はどのようなか。 ・ 新東名の工事車両に対し、制限速度40kmの道路を20kmの速度とする標識がある。片側1車線の道路において、この速度で走行されるのは、地元住民の生活道路として迷惑にも感じるが、いかがか。 ・ 戸川の区画整理事業の関係で、最近地元住民の反対運動があるようだが、地域に恩恵はあるのか。 | 御門自治会 |

| | | |
|----------------------|---|----------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の期待もあることは十分に承知しており、またクリーンセンターの建設に多大な協力をいただいたこと大変感謝している。まずは周辺の安全対策として、カラー舗装を始め通学路整備などに取り組んでいる。 ・ 工事用車両の通行で迷惑をお掛けしていることについては、中日本高速道路に伝える。安全を第一に考える中で、車両の制限速度を上げることは難しい。 ・ 新東名開通に合わせた新しいスマートICの設置に当たり、新たな産業利用促進ゾーンとして位置づけられた場所への企業誘致に取り組んでいる。現在、準備組合と一緒に、事業計画と地域活性化に向けた議論を重ねている。企業誘致に対して難しい状況にあるが、準備組合と相互に協力して当たっていきたい。 | <p>建設部長 都市部長</p> |
| <p>2 防災まちづくりについて</p> | | |
| <p>【市からの状況説明】</p> | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時相互応援協定は、全国報徳研究市町村協議会加盟の16市町村のほか、岩手県北上市、新潟県柏崎市、東京都日野市、静岡県富士宮市と伊東市、長野県諏訪市、長崎県壱岐市の7市と締結している。 ・ 日野市、富士宮市、諏訪市は、相互の市同士でも協定を結び、4市の定期的な連絡会議により顔の見える応援関係を築いている。 また、7市では、首長が出席する「防災サミット」を開催などの交流も行っている。 ・ 姉妹都市でもある諏訪市とは、市民交流として青少年交流キャンプ、マラソンやソフトボール、柏崎市とは少年野球など、主にスポーツを通じた交流を行っている。 ・ 地域防災計画では、風水害時の避難所は公民館としているものの、公民館に避難できない地域もあることから、秦野曾屋高校を風水害時の避難所として使用できるよう、学校側と協議を重ねてきた。その結果、昨年11月に協定を見直し、公民館に避難できないときに限り、風水害時の避難所として使用できることとなった。 ・ 市では、早めの避難を促すよう防災行政無線や緊急情報メールなどで、避難所の開設状況なども含めてこまめに伝えている。 ・ 秦野曾屋高校が避難所となることを知っておいていただくだけでなく、大雨等が予想される場合は、市からの情報や気象情報などの防災情報を注視し、早めの避難を心がけていただきたい。 ・ なお、「秦野曾屋高校に行ったが避難所として開設されていなかった」という事態を避けるため、防災タウンページや本市ハザードマップへの表示は、現時点では難しいと考えている。 ・ 防犯協会を設置している防犯カメラは、犯罪抑止とともに秦野警察署などへの捜査協力に役立っている。市内に設置している204台の防犯カメラのうち、本町地区では42台が、各商店会や秦野駅からの徒歩圏内、河原町や宮上交差点といった主要道路との交差部分を中心に設置されている。 ・ 防犯カメラの増設や移設といった整備については、犯罪発生状況や新東名高速道路などの新たな要因による人や交通流動の変化等も考慮し、警察署等の関係機関や地域と協議し、検討を進めていく。 | <p>くらし安心 部長</p> |

| 【質問・要望・意見等】 | |
|--|---------|
| <p>(要望・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害協定に基づき、自治体間でさまざまな連携をとっていることは理解したので、これからは、たばこ祭での諏訪太鼓のように、さらに市民同士の文化交流を図っていきたい。 ・ 曾屋高校との防災協定について感謝する。一步進んだが、防災倉庫の設置要望が暗礁に乗り上げている。本町地区は人口に対して避難所が少なく、風水害に対する認識が甘いと感じる。多くの避難者を収容できる体制を整えるよう強く要望する。 | 下落合自治会 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震の場合は小学校を避難所とし、地区配備隊として職員が従事する。風水害の場合は常設の配備隊はないが、避難所となる公民館に本部から職員を派遣する。避難者が多い時は、公民館では足りないため、小学校の体育館を避難所として開設する。曾屋高校の防災倉庫の設置については、市からも話を投げかけていく。 | くらし安心部長 |
| <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館が避難所として開設される時、どのくらいの時間で開館してもらえるのか。職員は来てもらえるのか。 | 大道自治会 |
| <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線や緊急情報メールなどで避難所の開設を案内するときは、すでに職員が避難所に配置された状態になっている。 | くらし安心部長 |
| <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本町小、末広小は川沿いにあるため、避難所として適さないと思うが、市の考え方はどのようなか。 | 中曾屋自治会 |
| <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水被害の危険度から判断し、公立施設、はだのこども館といった順番で避難所を開設していく。 | くらし安心部長 |
| <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会では、広域避難場所などの情報を非加入者にもお知らせするよう努力しているが、非加入者は、市が何とかしてくれるのではないかと考えているようだ。もしもの時に備え、非加入者への適切な対応を検討してほしい。 | 乳牛柳町自治会 |
| <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所運営をスムーズに行うため、自宅に近いところを避難所として割り振っているが、開設する23か所の避難所は、たまたま本市を訪れた人も含めて、誰がどの避難所に行っても構わない。色分けして案内している防災マップを持っていない人への周知方法については、あらためて検討したい。 | くらし安心部長 |

| | | |
|---------------------------|---|--------------------|
| | <p>(質問・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 袋小路に迷い込んだトラックに壁を壊された世帯がある。防犯カメラを設置して欲しいが、どうしたらいいか。 ・ ここ10年で20世帯が自治会を辞めていった。自治会に入っていない人は、市県民税を少し上げるくらいのことでもいいのではないか。 | <p>ストリームタウン自治会</p> |
| | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置済みの防犯カメラの活用状況から、有効な設置場所について秦野警察署と協議している。9月に自治会の意見を聞く機会を設ける予定である。 ・ 自治会の加入促進については、自治会の意見も聞きながら検討していきたい。 | <p>くらし安心部長</p> |
| | <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間が暗いところがある。また、木の陰に隠れてしまっている街灯もあるので、防犯の観点から対処して欲しい。 | <p>桜町自治会</p> |
| | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯については、自治会で相談して地域安全課にお申し出いただきたい。 | <p>くらし安心部長</p> |
| | <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会に入っていないと防犯灯を設置してもらえないのか。 | <p>桜町自治会</p> |
| | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自治会とよく相談して欲しい。 | <p>くらし安心部長</p> |
| <p>3 地域における「ごみ問題」について</p> | | |
| <p>【市からの状況説明】</p> | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会加入世帯には自治会を通じて、自治会未加入世帯には市役所や各公民館、駅前連絡所などで、それぞれ「ごみと資源の分別カレンダー」と「ごみと資源の分け方・出し方ガイド」を配布している。また、平成29年度からは、アパートの管理会社や大家を対象に説明会を実施し、ごみ収集場所の適正管理やアパート住人のごみ出しマナー向上などの指導を行ってきた。 ・ 本市と伊勢原市のごみ処理は、現在、伊勢原清掃工場とはだのクリーンセンターの2施設で行っているが、伊勢原清掃工場の老朽化に伴い、令和7年度末までに、はだのクリーンセンター1施設体制に移行する。資源化の促進による可燃ごみの減量を図っている。 ・ ルールが守られていないごみについては、捨てた人にルールを守ってもらうことが大事。貼り紙をしたり、中身を確認したりすることにより、自治会の加入、未加入を問わず直接指導している。集合住宅の場合は、直接アパート管理会社へ指導することもある。 | <p>環境産業部長</p> |

| | | |
|-----------------------|--|--------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやタブレットで利用できる「ごみ分別アプリ」を近日中に導入する。分別方法が分かりづらいものや、忘れやすい不定期のごみ収集日に関する情報を提供し、分別の徹底を周知していきたい。 | |
| | <p>【質問・要望・意見等】</p> | |
| | <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合住宅に住んでいる人たちのゴミ出しマナーが悪く、管理会社に徹底を要請しているが、全く変わらない。ルールを守らない人は、自治会に入っていない人が多い。管理会社も含めて、市からも徹底を要請して欲しい。 | <p>御門自治会 乳牛柳町自治会</p> |
| | <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみステーションについては、1世帯当たり0.3㎡が基準と聞いたが、40世帯で0.5㎡のごみ収集場所を利用している場所が三叉路にあり、そのため、ごみがあふれて車の通行に支障があるだけでなく、自治会外の人のごみを捨てていくような状況にある。ステーションの利用規定や設置基準を作るとか、利用者名簿などを明確にして使っている人同士が認め合うような方法を検討して欲しい。 | <p>御門自治会</p> |
| | <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合住宅については管理会社が窓口となり、家賃に自治会費を上乗せして自治会に加入するような方法も検討して欲しい。 | <p>下落合自治会</p> |
| <p>○ 第2部 市政全般について</p> | | |
| | <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 抜け道に使われている狭く危険な状況の生活道路がある。歩道部分のカラー舗装も良い対策だが、時間帯を決めた進入規制もするべき。 | <p>桜町自治会</p> |
| | <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本町地区は秦野の中心地と思っているが、人が歩いていないし、実際に住んでいる感覚では、閑散としていて空き家も多くなってきていると感じる。その反面、郊外のスーパーの駐車場は満車で賑わっている。市長が言うにぎわいづくりをぜひ進めてもらいたい。 | <p>東道自治会</p> |
| | <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 郊外のスーパーにお客さんがたくさんいるということ自体はうれしい面がある。着実ににぎわいづくりを進めていこうと思っているが、いきなり明日にぎわいが創られるということはなく、一つ一つ積み重ねていくしかない。秦野駅から曾屋神社までを結びまち歩きを楽しんでもらう中で、上宿観音、さかえちょう公園、歴史ある近代建築物など、にぎわいに結びつく要素がたくさんある。地元をよく知る皆さんのアイデアをもらい、魅力を磨いていくことでにぎわいが生まれると感じている。市内の4駅の中でも秦野駅は玄関口。皆さんと連携して取り組みたい。 | <p>市長</p> |

| | |
|--|----------------|
| <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道の路肩など、定期的な手入れがされていないように思うが、いかがか。 自治会役員の負担軽減、加入率の向上など、抜本的に見直す時期に来ているのではないか。 | <p>中里自治会</p> |
| <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日くまなく見ているというわけには、なかなかいかない。市内全域を見て、優先度の高いところからやっていくことになるので、損傷箇所を発見したらお知らせいただきたい。 風水害、ごみ、防犯灯など、実際に困ったことに直面しないと、自治会に入るメリットを感じることができない。先日の参議院選挙の投票率が47.88%、市長選が41%弱といった結果を見ると、市政などに関心が低いことの表れであり、誰かがやってくれるだろうというような意識なのだと感じる。自治会に入っていないとによる危機感を持ってもらえるよう訴えていきたい。 | <p>市長</p> |
| <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力低下に対し、目に見えるような形で対策を。 おいしい秦野の水は利益は出ているのか。 | <p>乳牛柳町自治会</p> |
| <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力調査が行われているが、数値がすべてではないと思っている。確かに結果だけ見ると、県内、全国平均と比べて低い状況であるが、この数値が低いから一概に学力が低いわけではなく、この数値をどのように教育に生かしていくかという視点で教員が取り組んでいる。確かに数値を上げていく努力は必要であり、教員にも意識改革が必要だと思うが、学習の習慣をつけていくという意味で、教育水準の向上に向けて様々な取組を行っているので、御理解いただきたい。 | <p>市長</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ペットボトル事業は、民間企業と競合してリスクを負うことは出来ないと考えている。あくまでも水道事業の附帯事業と位置付けて実施しており、収支はマイナスとなっている。(後日回答) | <p>上下水道局</p> |